令和２年度革新的ロボット研究開発等基盤構築　間接補助事業　事業計画書

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発分野** | □Ａ施設管理分野　　□Ｂ小売分野　　□Ｃ食品分野 |
| **事業者名** | 株式会社○○ | **開発場所** | ○○県○○市 |
| **事業者の業種** | ○○業 |
| **積算概要** | Ⅰ．施設等改修費 | 0 千円 | Ⅴ．消費税  | 0 千円 |
| Ⅱ．装置等運用費 | 0 千円 | 事業経費総額(Ⅰ～Ⅴ) | 0 千円 |
| Ⅲ．人件費 | 0 千円 | 補助額 | 0 千円 |
| Ⅳ．旅費交通費 | 0 千円 |  |  |

【**１．現在の自社事業の概要**】

|  |
| --- |
| ※提案するロボットフレンドリーな環境構築事業の下地となる自社事業の概要を記載するもので、提案に関わりの無い事業については記載不要。 |

【**２．研究開発提案内容**】

|  |
| --- |
| ※研究開発提案内容 |

【**３． 期待される効果**】

|  |
| --- |
| ※経済性、汎用性、標準化、業界への普及など |

【**４． 本事業年度終了後のロボットフレンドリーな環境構築への取組**】

|  |
| --- |
| ※公募要領に記載されている、「開発課題」を解決するにあたっての全体スケジュール（本事業年度以降）と具体的な研究開発内容を記載のこと。そのうえで、上記「２．研究開発提案内容」が当該全体スケジュール上どこに位置づけられるかも明記すること。 |

**【５．事業計画スケジュール】**

|  |
| --- |
| ※事業期間中に実施する内容を記載（例）・○年○月：ロボット・周辺装置を購入・○年○月～○月：効果検証・○年○月：標準化活動開始 |

**【６．体制】**

|  |
| --- |
| ※本事業に関わる体制（関係者）、協力関係（例）・ロボットシステム検討：○○SIer・効果検証：○○百貨店（過去にも販売検証に活用実績あり）・標準化への取組：○○工業会（標準化委員会で中心的な活動実施）  |